

# PROFILE



氏名

有井 巴(Tomoe Arii)講師

模擬授業タイトル

はじめての母語獲得研究:人間はどのように母語を獲得するのか?

研究分野

心理言語学

基本情報

母語獲得研究を専門とし、主に意味論と統語論の分野において、日英の比較対照研究を行う。現在は、比較構文の解釈の獲得、および統語処理の研究をしている。

## 受験生へのMESSAGE

自由な行動が制限される昨今ですが、知的好奇心を満たす方法は無限大です。これまで身につけた基礎学力をベースに、大学ではさらなる知の探求に出かけましょう！

## SCHOOL OF INTERNATIONAL LIBERAL ARTS ・ 国際教養学部



### 都市課題実習

有馬 貴之

都市学系の学生が2年次に履修する必修科目です。横浜をはじめとして、我々が住む日本や世界の都市は今現在多くの課題を抱えています。そのため、それらの都市が直面する課題を発見し、その背景や意味、構造を理解し、解決策を提示・実行するための、さまざまな知識や知恵、能力も求められています。本実習では都市の課題を理解する上で必要不可欠な基礎知識(環境や政策、まちづくり等)を踏まえ、その調査・分析・考察の方法や、フィールドワークの基礎を、各学問を専門とする複数の教員から学びます。実習は3・4・5限の連続した時限で15週にわたって行われ、個人作業によるスキル向上だけでなく、グループでの作業や討論が頻繁に実施されます。加えて、SDGs未来都市を宣言する横浜市の大学として、本実習を一通り受け終わるとSDGsの17の目標についての理解と調査法を身に付けることができるのも特徴です。



### イスラーム地域史

山崎 和美

今このような世界に我々はなぜ生きているのか、中東等イスラーム世界で民主化が進まず不安定な状態が続くのはなぜか、歴史学・社会学・国際関係論の方法で検証し、多様な視点を養います。イスラーム地域史Aは近現代史、イスラーム地域史Bは前近代史を扱い、中東・北アフリカとその隣接地域の「アラブ・テュルク(トルコ)・ペルシャ(イラン)社会」に関し考察します。イスラーム地域史Aでは、近代以降の帝国主義・第一次世界大戦・パレスティナ問題が不安定の根源となり、冷戦期の米ソ対立がムジャーヒディーンを生み出し、9.11後のイラク戦争がテロや紛争を増加させた経緯を学修します。イスラーム地域史Bでは、古代地中海・オリエント文明の影響を受け誕生し、長期間の繁栄が前近代まで続いたイスラーム世界の歴史について「西方イスラーム世界(アラブ文化圏)」と「東方イスラーム世界(ペルシャ・テュルク文化圏)」を比較しつつ学びます。